

復習テスト

18回テスト

〔テスト範囲〕

18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮
P	P	P	P	P	P	P	P	P	P	P	P	P	P	P	P	P	P
54	48	42	38	34	30	26	22	20	18	16	14	12	10	8	6	4	2
⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮
59	53	47	41	37	33	29	25	21	19	17	15	13	11	9	7	5	3

氏名	年	組	番
／ 100 点			

● 次の太字のカタカナを漢字に直しなさい。(各5点)

- ① 業務をスイコウする。
- ② 注意をカンキする。
- ③ 自由をカクトクする。
- ④ 不足額をホテンする。
- ⑤ しばらくキンシンする。
- ⑥ 宅地をゾウセイする。
- ⑦ トウトツの感は否めない。
- ⑧ 理論の正しさをケンシヨウする。
- ⑨ 彼は映画界のキョシヨウだ。
- ⑩ 彼の話はシリメツレッツだ。

● 次の各設問に答えなさい。(50点)

◇ 次の傍線部の意味として最も適切なものを選びなさい。(各10点)

⑨	⑦	⑤	③	①
巨匠	唐突	謹慎	獲得	遂行
⑩	⑧	⑥	④	②
支離滅裂	検証	造成	補填	喚起

⑪ 失敗の責任を転嫁する。

- ア 迎え入れること。
- イ 所属させること。
- ウ 移して押し付けること。
- エ 取り違えること。

⑪	ウ
⑫	エ

⑫ 窮屈に四角ばって挨拶をする。

- ア はにかんだ表情で。
- イ 緊張で声がうわずって。
- ウ とげとげしい様子で。
- エ 堅苦しい態度で。

◇ 次の空欄に漢字一字を入れて、慣用表現を完成させなさい。

⑬ を漕ぐ……居眠りをする。

(10点)

⑬	舟
---	---

◇ 次の文の空欄に、適切な語を選んで入れなさい。(20点)

⑭ こうした問題群を一つひとつきちんと説明できなければ、生徒たちに校則が受容されることはない。

、その意味を生徒に納得させる教育の思想が語られなければならない。そうでなければ、校則は生徒管理の手段に堕してしまふ。

⑭	イ
---	---

ア 逆に言えば イ そのためには ウ しかしおそらくは エ ところどころか オ 一般的に見れば

氏名	年	組	番
／ 100 点			

● 次の太字の漢字をひらがなに、カタカナを漢字に直しなさい。(各5点)

- ① 参加を促す。
- ② 財政が破綻する。
- ③ 寒さが緩む。
- ④ 軍隊がシヨウトツする。
- ⑤ 前例をトウシユウする。
- ⑥ セイエイを集めたチーム。
- ⑦ 障害物をジヨキヨする。
- ⑧ 入学をケイキに引っ越す。
- ⑨ 観客席がキュウコウバイだ。
- ⑩ 四大文明のハッショウ地。

● 次の各設問に答えなさい。(50点)

◇ 次の傍線部の意味として最も適切なものを選びなさい。(10点)

- ⑪ 大過なく職務を遂行する。
ア 目立った間違い。 イ 遠い昔のこと。
ウ 大まかな原則。 エ 対立する意見。
オ 大きな違い。

◇ 次の語の意味に最も近いものを選びなさい。(10点)

- ⑫ 終始一貫
ア 不即不離 イ 臨機応変 ウ 徹頭徹尾
エ 完全無欠 オ 初志貫徹

◇ 次の説明に当てはまるものを選びなさい。(各10点)

- ⑬ 『蜻蛉日記』と同じジャンルの作品。
ア 日本書紀 イ 和泉式部集 ウ 方丈記
エ とはすがたり オ 義経記

⑭ ノーベル文学賞受賞者の作品。

- ア 春の雪 イ 砂の女 ウ 細雪
エ 砂の器 オ 雪国

⑮ 夏目漱石の作品ではないもの。

- ア 道草 イ 行人 ウ 浮雲
エ 明暗 オ 草枕

⑨	⑦	⑤	③	①
急勾配	除去	踏襲	ゆるむ	うながす
⑩	⑧	⑥	④	②
発祥	契機	精鋭	衝突	はたん

⑪
ア

⑫
ウ

⑬	⑭
エ	オ
⑮	
ウ	

氏名	年	組	番
／ 100 点			

● 次の太字の漢字をひらがなに、カタカナを漢字に直しなさい。(各5点)

- ① 自慢話を聞かされ辟易する。
- ② 自宅でのんびりと寛ぐ。
- ③ これはフキユウの名作だ。
- ④ イサイ承知いたしました。
- ⑤ 和平のコウシヨウが成立する。
- ⑥ ヒンパンに電話をかける。
- ⑦ 資源の浪費にケイシヨウを鳴らす。
- ⑧ 人の先頭に立ってモハンを示す。
- ⑨ ハクブンキョウキの頼れる友人。
- ⑩ リロセイゼンとした演説だ。

● 次の各設問に答えなさい。(50点)

◇ 次の語の類義語として最も適切なものを選びなさい。(各10点)

- ⑪ 否応なく
ア 如才なく イ ことなく
ウ センかたなく エ 滞りなく
オ 支障なく
- ⑫ 翼賛する
ア 誇張する イ 索引する
ウ 努力する エ 支援する
オ 承認する

◇ 次に示す月の異名を漢字で書きなさい。(各10点)

- ⑬ 九月
- ⑭ 七月
- ⑮ 十月

⑨	⑦	⑤	③	①
博聞強記	警鐘	交渉	不朽	へきえき
⑩	⑧	⑥	④	②
理路整然	模範	頻繁	委細	くつろぐ

⑪
ウ
⑫
エ

⑮	⑬
神無月	長月
	⑭
	文月

氏名	年	組	番
／ 100 点			

● 次の太字の漢字をひらがなに、カタカナを漢字に直しなさい。(各5点)

① 巷の声に耳を傾ける。

② 体裁を取り繕う。

③ 滅多にない代物だ。

④ 世界一をヒョウボウする企業。

⑤ 欠席者はカймだった。

⑥ 資料をセイサする。

⑦ 確たるソテイをともなう領域だ。

⑧ イロウのないよう気をつける。

⑨ シサに富んだ話。

⑩ 開会式で選手センセイする。

● 次の各設問に答えなさい。(50点)

◇ 次の空欄に漢数字を入れて四字熟語を完成させなさい。(20点)

⑪ 変 化

◇ 次の傍線部の意味として適切なものを選択肢から一つずつ選びなさい。(各10点)

⑫ なほわりなく恋しうのみおぼえければ、

⑬ つとめて主殿司の見るに、

⑭ 大殿には騒ぎ満ちてののしる。

- ア 次第に イ こっそりと ウ 朝早く
エ どうしようもなく オ かえって
カ 嘆き悲しむ キ 大騒ぎになる

⑨	⑦	⑤	③	①
示唆	措定	皆無	しろもの	ちまた
⑩	⑧	⑥	④	②
宣誓	遺漏	精査	標榜	ていさい

⑪
千
万

⑭	⑫
キ	エ
	⑬
	ウ

氏名	年	組	番
／ 100 点			

● 次の太字のカタカナを漢字に直しなさい。(各5点)

① 郷土芸能を デンシヨウ する。	② 産地を ギソウ する。	③ 責任を カイヒ する。	④ ボウシヨウ を固める。	⑤ ワイロ を受け取る。	⑥ 国家の イシン にかかわる。	⑦ 恩恵を キョウジュ する。	⑧ 授業内容に興味 シンシン だ。	⑨ ボウダイ な量の書物。	⑩ 大きな ハンキョウ を呼ぶ。
① 伝承	② 偽装	③ 傍証	④ 傍証	⑤ 威信	⑥ 津々	⑦ 反響	⑧ 膨大	⑨ 享受	⑩ 膨大

● 次の各設問に答えなさい。(50点)

◇ 「場合により必要に応じて見事に使い分ける」という意味の成句を選びなさい。(10点)

⑪ ア 風が吹けば桶屋が儲かる	⑪ イ 自家薬籠中の物	⑪ ウ 船頭多くして船山に登る	⑪ エ 魚心あれば水心
イ			

◇ 「うち払ふ塵のみ積もるさ筈も嘆く数にはしかじと思ふ」の歌の中で用いられている技法を選びなさい。(20点)

⑫ ア 折句	⑫ イ 序詞	⑫ ウ 掛詞	⑫ エ 枕詞	⑫ オ 体言止め
ウ				

◇ 「かはづ鳴く井手の山吹散りにけり花のさかりにあはましものを」の歌の種類を選びなさい。(20点)

⑬ ア 春の歌	⑬ イ 秋の歌	⑬ ウ 賀の歌	⑬ エ 恋の歌	⑬ オ 哀傷の歌
ア				

氏名	年	組	番
／ 100 点			

● 次の太字の漢字をひらがなに、カタカナを漢字に直しなさい。(各5点)

① 道徳心が欠如している。	③ 相手の態度を是認する。	⑤ 効果が如実にあらわれる。	⑦ 栄養をセツシユする。	⑨ 何事にも辛抱がカンヨウだ。
② 法に基づいて制裁する。	④ 効果が如実にあらわれる。	⑥ 同じ結論にトウタツする。	⑧ ユウズウのきかない石頭。	⑩ 開発計画のヘイガイを質す。

⑨ 肝要	⑦ 摂取	⑤ しっぺい	③ ぜにん	① けつじょ
⑩ 弊害	⑧ 融通	⑥ 到達	④ によじつ	② せいさい

● 次の各設問に答えなさい。(50点)

◇ 「高低」と熟語の構成が同じものを選びなさい。(10点)

⑪ ア 租税	イ 添削	ウ 苦衷
エ 検疫	オ 脱帽	

◇ 次の空欄に当てはまる漢字をそれぞれ答えなさい。(20点)

⑫ 難事件が快乱を断つごとく解決された。

◇ 次の空欄に同じ字が入らない慣用句の組み合わせを選び、それぞれの空欄に当てはまる最も適切な漢字を答えなさい。(各10点)

⑬ A	B
を食う	をふかせる
をさす	に流す
が鳴る	に覚えがある
を上げる	も葉もない
が立つ	が引ける

⑬ A 音	B 根
-------	-----

⑫ 刀	麻
-----	---

氏名

年

組

番

● 次の太字のカタカナを漢字に直しなさい。

(各5点)

① 弱点をシテキされる。

② 選手の士気をコブする。

③ 戦争のキョウイにさらされる。

④ 証言にフシンな点が多い。

⑤ 私は面くらいシユウチさえ覚えた。

⑥ 砂漠にコウリヨウとした風景が広がる。

⑦ 恵まれたキョウグウに育つ。

⑧ グウハツ的な事故にあう。

⑨ リンリにもとる行為。

⑩ 封筒に切手をハる。

● 次の各設問に答えなさい。

(50点)

◇ 「竜巻」と読み方の音・訓の組み合わせが同じ語を選びなさい。

(10点)

⑪ ア 言葉 イ 台風 ウ 時間 エ 磁石

◇ 「とりもなおさず」の意味を選びなさい。

(10点)

⑫ ア それがそのまま イ とりあえずは
ウ 考えるまでもなく エ それには及ばず

◇ 次の四字熟語の空欄に当てはまる数字を全て足した数を選びなさい。

(10点)

⑬ 里霧中 三 拝 拝 衣帯水
ア 十三 イ 十五 ウ 十八 エ 二十 オ 二十三

◇ 『蟹工船』の作者を選びなさい。

(20点)

⑭ ア 小林多喜二 イ 太宰治 ウ 芥川龍之介
エ 森鷗外 オ 山本有三

⑨	⑦	⑤	③	①
倫理	境遇	羞恥	脅威	指摘
⑩	⑧	⑥	④	②
貼	偶発	荒涼	不審	鼓舞

⑭
ア

⑬
イ

⑫
ア

⑪
ア

氏名	年	組	番
／ 100 点			

● 次の太字の漢字をひらがなに、カタカナを漢字に直しなさい。(各5点)

① 人心を**掌握**する。

② 美の**権化**。

③ □伝によって芸を受け継ぐ。

④ **追悼**の意を表す。

⑤ 会期を**エンチ**ョウする。

⑥ **セン**ボウのまなざしで見る。

⑦ あの場所は非行の**オンシ**ョウだ。

⑧ **イシ**ヤ料をはらう。

⑨ 私の**イチ**ゾンでは決めかねる。

⑩ 部品を**ハソ**ンする。

● 次の各設問に答えなさい。(50点)

◇ 熟語の組み合わせが対義語でないものを選びなさい。(10点)

⑪ ア 解雇 — 採用 イ 演繹 — 帰納

ウ 胎生 — 顕在 エ 不易 — 流行

◇ 傍線部の語の使い方が他と異なるものを選びなさい。(10点)

⑫ ア 一番安いのを見つけて下さい。

イ これが先生の教えてくれた本です。

ウ 父は写真を撮るのが好きです。

エ 入学式で着ていたのはこの服です。

◇ 次の各文の傍線部の文法的説明を選択肢から一つずつ選びなさい。(各10点)

⑬ 丈に四寸ばかりぞ足らぬ。

⑭ むげに、現心もなくなりぬるにや。

⑮ 教へ給ふことはうれしけれども、

ア 完了の助動詞「ぬ」の連用形

イ 断定の助動詞「なり」の連用形

ウ 過去の助動詞「けり」の已然形

エ 打消の助動詞「ず」の連体形

オ 形容動詞の連体形活用語尾

カ 形容詞の已然形活用語尾

⑨	⑦	⑤	③	①
一存	温床	延長	くでん	しょうあく
⑩	⑧	⑥	④	②
破損	慰謝(慰藉)	羨望	ついとう	ごんげ

⑪
ウ

⑫
イ

⑮	⑬
カ	エ
	⑭
	イ

氏名	年	組	番
／ 100 点			

● 次の太字の漢字をひらがなに、カタカナを漢字に直しなさい。(各5点)

① 仏頂面をして考え込む。

② 紫陽花の苗を植える。

③ 会議は肅々と進められた。

④ 体制に与する。

⑤ 開発計画をシユクゲンする

⑥ 生命のキゲンを探る。

⑦ 世界にヒヤクする。

⑧ 思わぬヤクトクがある。

⑨ テンジュを全うする。

⑩ オリンピックによるトクジュ。

● 次の各設問に答えなさい。

(50点)

◇ 次の四字熟語の空欄に入る漢字を選びなさい。

(10点)

⑪ 周章 狼

ア 馬 イ 狼 ウ 羊 エ 虎

⑪	イ
---	---

◇ 次の古語の読みを現代仮名遣いで答えなさい。(各10点)

⑫ 大臣

⑬ 去年

⑫	おとど
⑬	こぞ

◇ 次の傍線部の意味として適切なものを選びなさい。(20点)

⑭ すべて、余りになりぬる人の、そのままにて侍る

例、ありがたきわざにこそあめれ。

ア すばらしいことであるという。

イ うらやましいことであるだろう。

ウ かたじけないことであるらしい。

エ めったにないことであるようだ。

オ つまらないことであるそうだ。

⑭	エ
---	---

⑨	天寿	⑦	飛躍	⑤	縮減	③	しゆくしゆく	①	ぶっちょうづら
⑩	特需	⑧	役得	⑥	起源	④	くみ する	②	あじさい

⑬	⑭	⑬	⑭
おっしゃって下さい	○	参る	心配されていました

氏名	年	組	番
／ 100 点			

● 次の太字の漢字をひらがなに、カタカナを漢字に直しなさい。(各5点)

① 株価の急落に狼狽する。

② 妙な噂が流布する。

③ カクウの生き物。

④ 今さらコウカイしても始まらない。

⑤ 干ばつでジンダイな被害を受ける。

⑥ 戦乱で町がスイビする。

● 次の各設問に答えなさい。(各10点)

◇ 次の言葉の意味で、適切なほうを選びなさい。

⑦ 怜悯な ……
ア かしこく利発な
イ 冷やかな

⑧ 隘路 ……
ア 新たに通じる道
イ 狭くて通りにくい道

◇ 次の古語の意味で、適切なほうを選びなさい。

⑨ 案内 ……
ア 詳しく説明すること
イ 事情を尋ねること

⑩ すずろに ……
ア 本当に
イ わけもなく

⑪ 乾の方 ……
ア 北東
イ 北西

◇ 次の説明に当てはまるものを選択肢から選びなさい。

⑫ 日本最古の勅撰和歌集。

ア 小倉百人一首 イ 万葉集

ウ 古今和歌集 エ 千載和歌集

⑬ 幸田露伴の作品。

ア 三四郎 イ 高瀬舟

ウ 高野聖 エ 五重塔

⑤	③	①
甚大	架空	ろうばい
⑥	④	②
衰微	後悔	るふ

⑦
ア
⑧
イ

⑪	⑨
イ	イ
	⑩
	イ

⑫
ウ
⑬
エ

氏名	年	組	番
／ 100 点			

● 次の太字のカタカナを漢字に直しなさい。 (各5点)

- ① 早起きをシヨウレイする。
- ② 問題点がケンザイ化する。
- ③ 欲望をセイギヨする。
- ④ 損得カンジョウで行動する。
- ⑤ コンカンをなす重要な原理。
- ⑥ 電車の遅延がジヨウタイ化する。

● 次の各設問に答えなさい。 (⑦～⑪各10点、⑫20点)

◇ 次の言葉の意味に近いほうを選びなさい。

- ⑦ 突飛な ……
ア 奇抜な
イ 性急な
- ⑧ 同工異曲 ……
ア 似ている
イ ずれている

◇ 次の傍線部の中から接続詞を選びなさい。

- ⑨ ア 柔道の試合に出る。もちろん、優勝するつもりだ。
イ 邪魔が入った。したがって、予定通りに進まなかった。
- ウ 勉強するのは嫌いではない。むしろ好きだ。

◇ 次の文の空欄に入る反語の意を表す表現を選びなさい。

- ⑩ 隈もなき月になりゆくながめにもなほ忘れ する。
- アこそ イやは ウなむ エのみ

◇ 次の傍線部の文法的説明として適切なものを選びなさい。

- ⑪ おほせたまふ
ア 過去の助動詞の未然形
イ 尊敬の助動詞の連用形
ウ 下二段動詞の連用形の活用語尾
エ 使役の助動詞の連用形

◇ 日記文学の成立年代順に並んでいるものを選びなさい。

- ⑫ ア 『更級日記』『十六夜日記』『土佐日記』
イ 『更級日記』『土佐日記』『十六夜日記』
ウ 『土佐日記』『十六夜日記』『更級日記』
エ 『土佐日記』『更級日記』『十六夜日記』

⑫
エ

⑪
ウ

⑩
イ

⑨
イ

⑦
ア
⑧
ア

⑤	③	①
根幹	制御	奨励
⑥	④	②
常態	勘定	顕在

氏名	年	組	番
／ 100 点			

● 次の太字の漢字をひらがなに、カタカナを漢字に直しなさい。(各5点)

① 損得を相殺する。

② 秘密を暴露する。

③ 政治とメディアの癒着。

④ 観光名所をモウラする。

⑤ 責任をテンカする。

⑥ ゲキヤクを扱う。

● 次の各設問に答えなさい。(各10点)

◇ 次の各文の空欄に入る適当な漢字一字を書きなさい。

⑦ 捲土 来を期して日々努力する。

⑧ 傍若無人な彼の態度は に余るものがある。

⑨ 不遜な発言に堪忍袋の が切れた。

◇ 次の傍線部の語を文法的に説明しなさい。

⑩ なほしばし身を去りなむと思ひ立ちて、

⑪ 見る人の招くなるらむ花すすきわが袖ぞとはいはぬものから

◇ 次の傍線部の意味を口語で答えなさい。

⑫ 情けもなほざりならずおぼえしかば、

◇ 『新古今和歌集』が成立した時代とその撰者の正しい組み合わせを選びなさい。

⑬ ア 奈良・大伴家持

イ 平安・紀貫之

ウ 平安・藤原俊成

エ 鎌倉・藤原定家

⑤	③	①
転嫁	ゆちやく	そうさい
⑥	④	②
劇薬	網羅	ばくろ

⑨	⑦
緒	重
	⑧
	目

⑩	⑪
強意(完了)の助動詞「ぬ」の未然形＋推量の助動詞「む」の終止形	打消の助動詞「ず」の連体形。

⑫
一通りでなく

⑬
エ

氏名	年	組	番
／ 100 点			

● 次の太字の漢字をひらがなに、カタカナを漢字に直しなさい。(各5点)

① 封建制度が**瓦解**した。

② **感興**の赴くままに筆を走らせる。

③ 精巧な**細工**を施す。

④ **カイン**の笑みを浮かべる。

⑤ **ニンイ**の地点を選ぶ。

⑥ 書類に必要な事項を**キサイ**する。

● 次の各設問に答えなさい。(⑦～⑨各10点、⑩⑪各20点)

◇ 「役目」と読み方の音・訓の組み合わせが同じ語を選びなさい。

⑦ ア 手本 イ 試合 ウ 駅弁 エ 立場

◇ 次の言葉の意味で、適切なほうを選びなさい。

⑧ ステレオタイプ…
ア ひな型
イ 紋切型

◇ 次の説明に当てはまる作家を選びなさい。

⑨ 横光利一と共に新感覚派の作家として注目され、代表作に『古都』がある。

ア 芥川龍之介 イ 志賀直哉
ウ 中島敦 エ 川端康成

◇ 次の傍線部の意味を口語で答えなさい。

⑩ さすがにまめやかにも思ひ立たず。

⑪ 玉淵はいとらうありて、歌などよくよみき。

⑤	③	①
任意	さいく	がかい
⑥	④	②
記載	会心	かんきよう

⑦
イ

⑧
イ

⑨
エ

⑪	⑩
物事によく通じていて(何事にも心得があった)	真面目に(誠実に、心の底から)

氏名	年	組	番
／ 100 点			

● 次の太字の漢字をひらがなに、カタカナを漢字に直しなさい。(各5点)

① 言葉を紡ぐ。

② 外に出た途端に雨が降り出した。

③ 会議がフンキュウする。

④ 条約をヒジュンする。

⑤ ハイリヨに欠ける行い。

⑥ 敵のヨウサイを攻撃する。

● 次の各設問に答えなさい。(各10点)

◇ 次の傍線部の意味として、適切なものを選びなさい。

⑦ それは恣意的な判断だ。

ア 効果や利益のみを重視するさま

イ 他と折り合いをつけるさま

ウ 論理的な必然性がないさま

⑧ 近年とみに関心が高まっている問題。

ア にわかに イ わずかに ウ ゆるやかに

◇ 次の各文の傍線部の動詞の活用の種類を選択肢から一つずつ選びなさい。

⑨ まかりすぎ侍るなり。

⑩ あやしの身には得がたき物にて、

⑪ いとあはれに覚えて、

ア ア行四段活用 イ ワ行下二段活用

ウ ラ行四段活用 エ ヤ行下二段活用

オ ラ行変格活用 カ ア行下二段活用

◇ 次の各文の空欄に入る適切なものを選びなさい。

⑫ こち といひて、文をとりて見れば、

ア 来_こ イ 来_き ウ 来_く エ 来る_く オ 来_れ

⑬ この中にさりともそこそ思ひ 。

ア せ イ き ウ し エ しか オ しかれ

⑫	ア
⑬	エ

⑪	エ
⑨	オ
⑩	カ

⑦	ウ
⑧	ア

⑤	③	①
配慮	紛糾	つむぐ
⑥	④	②
要塞	批准	とたん

18回
テスト
演習編

第16回

関東私大 国語基礎知識
実戦問題集
(P 42～47)

氏名	年	組	番
／ 100 点			

● 次の太字のカタカナを漢字に直しなさい。(各5点)

- ① 産業がスィビする。
- ② 疲労がチクセキする。
- ③ 人類のフヘンの価値観。
- ④ 親の愛にカワいた子ども。
- ⑤ 精神のジウウソクを求める。
- ⑥ ソウカンする二つの現象。

⑤	③	①
充足	普遍	衰微
⑥	④	②
相関	渴 いた	蓄積

● 次の各設問に答えなさい。(各10点)

◇ 次の空欄に適切な語を選んで入れなさい。

- ⑦ 言にくいことを黙っているよりも、
ほうがためになることがある。
□
言

⑦
ア

- ア あえて イ 決して
ウ まったく エ なぜなら

◇ 次の傍線部の意味を□語で答えなさい。

- ⑧ 堂どもあらまほしげなり。
- ⑨ まめやかなる事どもあはれみ沙汰しければ、
- ⑩ その日の夜さり、聞こゆべきことなむある。

◇ 次の各文の空欄に入る適切なものを選びなさい。

- ⑪ 「雨が降るといけないから」の意になるように
「門よくさしてよ。雨□降る」

- アこそ イやは ウもぞ エさへ
アをや イなど ウにぞ エすら
その悪□。

- ⑫ 人の善をもいふべからず。いはむや、

- ⑬ これ□称美のかひありと聞こゆれ。

- アもぞ イなむ ウやは エこそ

⑬	⑪
エ	ウ
	⑫
	ア

⑩	⑨	⑧
夜となるころ	実用的な	好ましい。(理想的だ。)

氏名	年	組	番
／ 100 点			

● 次の太字の漢字をひらがなに、カタカナを漢字に直しなさい。(各5点)

① 弱い相手と侮る。

② 将来を囑望されている。

③ 川の兩岸をつなぐカキヨウ工事。

④ ケンビキヨウで観察する。

⑤ センレンされたデザイン。

⑥ 辞書のカンシユウを依頼する。

● 次の各設問に答えなさい。(⑦～⑨各10点、⑩⑪各20点)

◇ 次の空欄に共通して入る身体の一部を表す漢字一字を書きなさい。

⑦ 放しの賞賛をおくる。

厳しく非難される。

◇ 次の傍線部の語を文法的に説明しなさい。

⑧ 常に礼しければ、その験にやありけむ、

ア 完了の助動詞「ぬ」の連用形 イ 接続助詞

ウ 格助詞 エ 断定の助動詞「なり」の連用形

◇ 次の説明に当てはまる作品を選びなさい。

⑨ 『源氏物語』以降に成立した作品。

ア 伊勢物語 イ 落窪物語

ウ 狭衣物語 エ 大和物語

◇ 次の傍線部を現代語訳しなさい。

⑩ いかにもとなく思すらむ。

⑪ あからさまに思ひしほどに、この宿に一兩年住み侍り。

⑤	③	①
洗練	架橋	あなどる
⑥	④	②
監修	顕微鏡	しよくぼう

⑦
手

⑧
エ

⑨
ウ

⑪	⑩
ほんのしばらくと 思っているうちに、	どれほど気がかりに 思っているだろう。

18回
テスト
演習編

第18回

関東私大 国語基礎知識
実戦問題集
(P 54～59)

氏名	年	組	番
／ 100 点			

● 次の太字の漢字をひらがなに、カタカナを漢字に直しなさい。(各5点)

① 過酷な運命に抗う。

② 奔流にのまれる。

③ 先輩のキゲンを損ねる。

④ ゴンゴドウダンな行い。

⑤ シマツに負えない。

⑥ リンカイ状態に達する。

● 次の各設問に答えなさい。(各10点)

◇ 次の四字熟語のうち正しいものは○、誤っているものは適切な形に直しなさい。

⑦ 直上径行

⑧ 不和雷同

⑨ 青天白日

◇ 傍線部が連用形でないものを選びなさい。

⑩ ア 旅行は楽しかった。

イ 修理が簡単でよかった。

ウ 起きて歯をみがく。

エ あの人はきつと元気だろう。

◇ 次の傍線部の語を文法的に説明しなさい。

⑪ あだ心つきなば、のち悔しき事もあるべきを、

◇ 次の『万葉集』の歌の季節を選びなさい。

⑫ 一年に七夕のみ逢ふ人の恋も過ぎねば夜は更けゆくも

ア 春 イ 夏 ウ 秋 エ 冬

◇ 作者と作品の組み合わせが正しいものを選びなさい。

⑬ ア 樋口一葉『砂の女』 イ 泉鏡花『山の音』

ウ 井伏鱒二『山椒魚』 エ 川端康成『高野聖』

⑤	③	①
始末	機嫌	あらがう
⑥	④	②
臨界	言語道断	ほんりゆう

⑨	⑦
○	直情径行
	⑧
	付和雷同

⑩
エ

⑪
完了の助動詞「ぬ」の未然形

⑫
ウ

⑬
ウ